

平成29年度日本植物病理学会九州部会プログラム
(九州病害虫研究会共催)

平成29年11月8日(水) 9時30分～17時

会場：沖縄県立博物館・美術館

(沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 Tel: 098-941-8200)

【口頭発表】

講演10分(1鈴8分、2鈴10分)

<第1会場(博物館講座室(1F))>

討論2分(終鈴12分)

<午前の部>

(●の講演者は、学生優秀発表者賞授賞候補者)

9:30 事務連絡

座長：菖蒲信一郎(佐賀農業セ)

-
- 1 9:35 **タマネギべと病菌卵胞子の土壌からの抽出と生死判別法について**
●児玉進之介・高木里歩・草場基章
(佐賀大農)
- 2 9:47 **サッポロフキバッタから分離された昆虫病原性糸状菌の同定**
●山岸遥河・田場聡・立田晴記・関根健太郎
(琉球大農)
- 3 9:59 **アワユキセンダングサ抽出液を混合したPVA(ポリビニルアルコール)フィルムによるサツマイモネコブセンチュウの防除効果**
●伊藤創¹・田場聡¹・伊藤勝仁²・生田大地³
(¹琉球大農・²株式会社アイセロ・³株式会社中九州クボタ)
- 4 10:11 ***Colletotrichum tropicale*によるジャボチカバ炭疽病(新称)の発生**
●玉城優太¹・田場聡¹・福地賢人¹・富高保弘²・関根健太郎¹・
安次富厚³・澤岨哲也⁴
(¹琉球大農・²九州沖縄農研・³沖縄農研セ・⁴沖縄農研セ名護)

座長：藤原和樹(九州沖縄農研)

-
- 5 10:23 **九州のゴルフ場においてクリーピングベントグラスに発生した *Pantoea ananatis* による褐変病**
●東経行¹・飯山和弘¹・伊藤孝弥¹・奥野健太郎²・土屋健一¹・
古屋成人¹
(¹九大院農・²シンジェンタ)

- 6 10:35 **土壌への竹粉施用によるトマト青枯病の防除効果**
●藤堂麻依・中原浩貴・吉川麻璃萌・松添直隆
(熊本県大院環境共生)
- 7 10:47 **ゲノム改変技術によるサトウキビの育種について**
●西橋潤¹・近藤聡²・大音徳²・太田邦史³・桑田茂¹・大里修一¹
(¹明治大院農・²トヨタ自動車・³東大院・総合文化)
- 8 10:59 **新規ゲノム改変育種技術を用いたイネ耐病性系統取得の試み**
●酒井皓大¹・三宅駿史¹・栗原美樹¹・近藤聡²・村本伸彦³・
光川典宏³・大音徳²・太田邦史⁴・桑田茂¹・大里修一¹
(¹明治大院農・²トヨタ自動車・³豊田中研・⁴東大院・総合文化)

座長：富高保弘（九州沖縄農研）

- 9 11:11 **イネいもち病菌における菌糸融合検出系の構築に向けて**
●松尾涼平・前田一行・加納寛也・桑田茂・大里修一
(明治大院農)
- 10 11:23 **SSR分析によるメヒシバいもち病菌の遺伝的集団構造の解析**
●島崎茜・草場基章
(佐賀大農)
- 11 11:35 **サンセベリア炭疽病菌Sa-1-2株のドラフトゲノム解析**
●中森大智¹・藤川貴史²・中村正幸¹・岩井 久¹
(¹鹿児島大農・²農研機構果樹茶部門)
- 12 11:47 **イネ幼苗の病徴型に基づいた*Rice stripe virus*の相対蓄積量の解析**
椎葉美里¹・奥田 充²・○竹下 稔¹
(¹宮大農・²農研機構中央農研)

<休憩> 12:00~13:00

<午後の部>

13:00 **平成28年度受賞講演**

講演20分, 討論 5分

地域貢献賞

座長：菊原 賢次（福岡農林総試）

**「イネもみ枯細菌病を中心とした水稻病害の発生生態の
解明及び防除法の開発」**

元 福岡県農業総合試験場長

前 九州病害虫防除推進協議会常務理事

吉村 大三郎 氏

- 13 13:40 **新規ソベモウイルスの機械的接種によるダイズ褐斑粒の発生確認**
○大貫正俊・高橋将一
(九州沖縄農研)
- 14 13:52 **ホオズキのトバモウイルスに対する弱毒ウイルスの防除効果**
○臼井真奈美¹・早日早貴²・黒木修一¹・櫛間義幸¹・富高保弘³・
寺本 敏¹
(¹宮崎総農試・²宮崎県西臼杵支庁・³九州沖縄農研)
- 15 14:04 **RIPA法によるメロン黄化えそウイルスの簡易診断**
○眞境名元次¹・玉代勢優奈¹・富高保弘²
(¹沖縄防技セ・²九州沖縄農研)
- 16 14:16 **PCR法と前培養法を組み合わせたカーネーション萎凋細菌病菌
感染苗の新たな検査方法の検討**
○植松紘一¹・堀田光生²
(¹長崎農技セ・²農研機構農環研)

- 17 14:28 **イチジクで発生した*Lasiodiplodia theobromae*によるラシオディプロ
ディア落葉病（新称）**
○齊藤紀子¹・菊原賢次¹・野方仁²
(¹福岡農林総試・²京築普及指導セ)
- 18 14:40 ***Rhizopus oryzae* によるカンキツ黒かび病（病原追加）**
○田代暢哉・浦川（尾形）綾子・正司和之・松尾洋一
(佐賀上場営農セ)
- 19 14:52 **2種*Talaromyces* 属菌によるパインアップル小果腐敗病の発生
（病原追加）**
○山城麻希・大城篤・安次富厚
(沖縄農研セ)
- 20 15:04 **鹿児島県本土および沖永良部島におけるサトイモ疫病の初発時期**
○湯田達也・西岡一也・尾松直志・西八束
(鹿児島農総セ)

- 21 15:16 **ジャガイモ抉芽を使用した種いも消毒剤の薬害観察に適する温度条件**
○菅 康弘
(長崎農技セ)
- 22 15:28 **タマネギべと病に対する各種薬剤の二次伝染抑制効果**
○菖蒲信一郎・渡邊幸子
(佐賀農業セ)
- 23 15:40 **福岡県で採取されたナシ黒星病菌におけるDMI剤感受性の低下**
○菊原賢次¹・飯山和弘²・松元賢²・古屋成人²
(¹福岡農林試・²九州大)

座長：菅 康弘（長崎農技セ）

- 24 15:52 ***Pectobacterium carotovorum* によるスイゼンジナ軟腐病の発生（新称）**
○玉代勢優奈¹・大城篤²・安次富厚²
(¹沖縄防技セ・²沖縄農研セ)
- 25 16:04 **九州で発生したショウガ科植物青枯病と病原細菌の系統解析**
○土屋健一¹・Htet Wai Wai Kyaw¹・黒瀬大介²・中村友香¹・
森田泰彰³・矢野和孝³・安次富厚⁴・大城 篤⁴・堀田光生⁵・
松元 賢⁶・飯山和弘¹・古屋成人¹
(¹九大院農・²CABI Europe-UK・³高知農技セ・⁴沖縄農研セ・
⁵農研機構農環研・⁶九大熱研セ)
- 26 16:16 **キウイフルーツかいよう病（biovar1）に対する*Actinidia chinensis* 品種の抵抗性評価**
○篠崎 毅¹・青野光男¹・清水伸一¹・成松耀司²・越智政友³
(¹愛媛果樹研セ・²愛媛中予局・³ゼスプリ・ジャパン)
- 27 16:28 **カンキツグリーニング病伝搬の感染源としてのゲッキツ樹のハザード解析**
○浦野知¹・宮路克彦²・井上広光³・藤川貴史³
(¹ペコIPMパイロット・²鹿児島農総セ・³農研機構果樹茶部門)

【ポスター発表】

＜第2会場（県民ギャラリースタジオ（1F））＞

9:40	事務連絡	
9:45	ポスター掲示	
10:15	ポスター閲覧開始	
13:40～	[植物病理学会九州部会幹事会を開催]	
14:30	(幹事会開催中は会場には入れません)	
15:00～	ポスターセッション	説明5分 討論2分
16:00		

座長：竹下 稔（宮大農）

-
- P1 **ソラマメにえそモザイク症状を引き起こすBymovirus種の同定**
○富高保弘¹・國友映理子²・横山とも子²・宇杉富雄³・津田新哉
(¹九州沖縄農研・²千葉農総セ・³中央農研)
- P2 **新規ディジェネレートプライマーを用いたエマラウイルスの網羅的検出**
○久保田健嗣¹・千秋祐也¹・富高保弘²・田中稔¹・津田新哉¹
(¹農研機構・中央農研・²農研機構・九沖農研)
- P3 **シソモザイクウイルス感染シソ株の無病徴側枝からのシソサビダニによるウイルス獲得可能性の検討**
○千秋祐也¹・宇杉富雄¹・富高保弘²・田中 稔¹・津田新哉¹・
久保田健嗣¹
(¹農研機構・中央農研・²農研機構・九沖農研)
- P4 **改良DIBA法における抗体処理時間及び基質・発色反応時間の短縮**
○櫛間義幸
(宮崎総農試)

座長：菅野善明（南九州大環境園芸）

-
- P5 **カンキツグリーニング病発生地におけるカンキツウイルス・ウイロイドの発生調査**
○富村健太¹・平松紀士²・真武信一³・藤川貴史¹
(¹農研機構果樹茶部門・²沖縄北部農水振セ・³沖縄県農研セ)

P6 **トマト栽培施設内で発生するムラサキカタバミのトマト黄化葉巻病 (tomato yellow leaf curl virus) の感染状況調査**
○大城篤¹・玉代勢優奈²・貴島圭介³・稲田拓郎¹・安次富厚¹・山城麻希¹
(¹沖縄農研セ・²沖縄防技セ・³八重山農林振興セ)

P7 **沖縄県内のパッションフルーツにおける各種ウイルス病の発生実態**
○安次富厚¹・宮城早苗²・稲田拓郎¹・大城篤¹・山城麻希¹・
松村まさと³・阿波根直恭³・大城和久⁴・長浜隆市⁴・目取眞要⁵・
鍛冶山拓美⁵・大石彩子⁶・下地聡子⁶・渡久山みき⁷・貴島圭介⁸・
山口綾子⁹・細川理恵⁹・寺村皓平⁹・岩井久¹⁰
(¹沖縄農研セ・²沖縄県庁・³沖縄農研セ名護・⁴沖縄北部農改・
⁵沖縄中部農改・⁶沖縄南部農改・⁷宮古農改・⁸八重山農改・
⁹沖縄防技セ・¹⁰鹿児島大農)

座長：中村 正幸（鹿児島大農）

P8 **宮崎県におけるサトイモ疫病の発生推移**
○久野公子¹・櫛間義幸¹・黒木修一¹・田村逸美²
(¹宮崎総農試・²サンケイ化学)

P9 **人工培地を利用した潜伏感染カンキツグリーンング病原細菌の
検出技術の開発**
○藤原和樹¹・西菜穂子²・福元智博²・細川理恵³・藤川貴史¹
(¹農研機構・²鹿児島農総セ・³沖縄防技セ)

P10 **ダイレクトリアルタイムPCRによるカンキツ類からのグリーンング病
病原細菌検出の試み**
○尾川 宜広¹・福元 智博¹・山口 卓宏¹・藤川貴史²
(¹鹿児島農総セ大島・²農研機構果樹茶部門)

16:15 ポスター閲覧終了、撤去開始

16:45 ポスター撤去完了

部会総会

平成29年11月8日（水）17時～17時40分

会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
(沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 Tel: 098-941-8200)

シンポジウムプログラム

平成29年11月9日（木）9時30分～12時10分

会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
(沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 Tel: 098-941-8200)

9:30 平成28年度受賞講演 講演20分，討論5分
地域奨励賞 座長：内川 敬介（長崎農技セ）
「温暖多雨地帯で問題となった果樹病害に対する防除技術改善」
佐賀県果樹試験場 野口 真弓 氏

<シンポジウム> 講演40分，討論5分

座長：中村 正幸（鹿児島大農）
9:55 「マンゴー病害（炭疽病および軸腐病）の発生生態と防除に関する研究」
沖縄県農業研究センター名護支所 澤岬 哲也 氏
座長：富高 保弘（九州沖縄農研）
10:40 「アブラナ科ウイルスの時間尺度と拡散経路に関する研究」
佐賀大学農学部（日本学術振興会特別研究員） 八坂 亮祐 氏
座長：竹下 稔（宮大農）
11:25 「レタスビッグベイン病に関与する媒介菌および2種病原ウイルスの病理学的特性に関する研究」
農研機構・西日本農業研究センター 野見山 孝司 氏